

「県立高等学校教育課題研究指定校事業」～未来を担う人材の育成を目指して～

3月20日（火）本校体育館にて1・2年生を対象とした「主権者教育講演会」が行われました。講師として東洋大学で教鞭をとるかたわら、模擬選挙推進ネットワーク事務局長をされている林大介先生をお招きして、60分間にわたる講演をしていただきました。

林先生は「主権者として考える、知立の未来、日本の未来」と題してお話をされました。まず、子どもとおとなの違いからはじめ、18歳未満の「有権者」でない子どもも「主権者」であると話されました。また、子ども時代からの市民性の醸成が地域づくり・社会づくりにつながるとされ、子どもを一人の人間として尊重する人権意識の必要性を説かれました。その後、700人以上の生徒を8人ごとのグループに分け、グループワークを行いました。内容は「知立市で解決したい課題」として①子ども・子育て②まちの活性化③高校世代などの若者の活躍④教育⑤外国人との共生⑥安全・安心なまちづくり⑦環境⑧障がい者や高齢者支援、「日本で解決したい課題」として①憲法②社会保障③労働④安全保障⑤財政⑥子育て・少子高齢化⑦教育⑧環境を挙げ、個人とグループで優先順位をその理由とともにつけ発表をするワークを行いました。生徒たちは、グループごとに活発に発言したり、アイデアを出し主権者としての課題解決に取り組んでいました。

グループワーク終了後、4グループに発表をしてもらい参加者全員で共有しました。講演の最後に全国で高校生が市に対して請願を行ったり、少年町長・少年議会の事例を伺い、最後に「社会の中の一員として主権者として様々なことに興味を持ち、いろいろなことにチャレンジして社会参加をして下さい」との言葉をいただき講演を締めくくりました。

教室に戻ってからの記入した感想では、「自分だけの考えだと課題の重要性に気づいていないこともあったので、良い体験になった」「違う意見だったけど将来について話し合うことは大切なことだと思った」という言葉が多かったです。この講演会をもとにして、これからも「地域社会の担い手を担う」生徒の育成につとめていきたいと思います。





(グループワークの様子)



(発表の様子)